示伴工業會

3

(中無クラブで)

せられた 大元帥陛下には午午前午後二回野外興統監あら

競長宮殿下より申上げる駿沢 遊ばされた、美の間開院参謀

上奏を開し召さ

列合計 二、二一七一工統定經費中要求 二二

一、大人〇

二世

で同人を中心に昨

一中國人阿 中國人阿 中國人阿 中國人阿

結果十中八、九まで中國人でいふのであるが、此の檢證の

あることが確認されるに至つ

九まで中國人で

中央輸送を拒否 漢口銀銭業者 て恐怖の餘り近くの露路を拔 行過れのた際背後に銃隊を開

分より晩日降

邦人某氏履傭の

同案を中心に逐係審議の結果―上る、各省要求豫算總額に於「風大蔵省豫算省講では主計」れ標準豫算十六億八千萬圓に【東京國通】紙報十一日の第一主計局案が大體に於て承認さ

だ成 人 一定 では一年で の如く決定した(単位百萬圓) で成 人

大演習第三日

九

、満洲國に於る化學工業の 質業部 高木 佐吉 高木 佐吉

法移讓問題、

各省

聯合事務官會議

昨日對滿事務局で開催

正

に於る工業 小語の整管社 際田勉大郎 際田勉大郎

河川改修の特殊工法に就い 宮本髪之助氏 宮本髪之助氏

かに「事館警察よりは直ちに現場に一を「羅將校を取敢へず急派、總領等を「接し海軍側は乍浦路駐屯の巡

直ちに現場調査

て非常線を張り廻らし犯人捜

配屯の巡

一況を詳細聴取する

及店員より當時の

の發生

と脳建路との角にある邦人

至急機

を諸所に撒布しつゝ何れか

集を行ひ共同租界全般に亘つ「感がある、それは日支閥る、工部局側も直ちに非常召」空氣が段々深まつてゆく附近の徹底的調査を行つてゐ」るが上海を中心として不

抗日救國團のアジビラ撒布

堰

(8

工業關係協會管助の下に大連り關東州及蔣洲各地の工學及今回社關我人工政會主催に依

年度豫算大綱决定

主計局案を大體承認

り事件の有力な目的

南全權大使

後日に持越される事となつた【東京國通』治外法機附屬地行政權移讓に關する各省聯合事務官會議は十一日午前【東京國通』治外法機附屬地行政權移讓に関する各省聯合事務官會議は十一日午前

1:)

日、丁實業部大臣、張外交大な新京會合を開催したこ

業會

議

韓特別市長をはじ

H

藤防住水の森土間文森本

和邑計畫 佐郷

地並びに大連へやがて率

一左の議題に基本代表の今、それより講代表の一番のり、それより講演、日本工物

張外交部大臣、丁實業部大臣、任本岡田總理大臣、南全様大使、張滿洲國國務總理、日本使、張滿洲國國務總理、日本

十一、満洲に於る河川の特異・特異性と日滿兩國の協調

洲國の度量衡及計畫樂協會 相賀 兼介

誇る工

三、滿洲國内に於る炭田分三、滿洲國々道の構造規準・ 坂田 昌亮 坂田 昌亮

業文夫

東洋學術

一海で支那

三、滿洲國内に対

印起**受** 刷製行 AAA 水极十 離 海 內 之 介明忠 〇五社 尤の固

其開會を敬祝す 、即ち相興に同心協力 、即ち相興に同心協力 、即ち相興に同心協力 、即ち相興に同心協力 、即ち相興に同心協力 、とて改を振興に同心協力 、性れ邇し、厚望歌れ 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのみらず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず 、となるのならず

小山代議士

國同脫黨

國の本、利用厚生の法なり夫れ開物成務の政は實に富

東洋工業會業

滿各機闘の異常なる努力に依建國以來日尚淺きもその間日 飜つて滿洲國の現狀を褪るに

行との第一回具體的に伴ふ滿洲中央銀行

《洋工業會議ひら

各種重要なる研究發表に

以下出席、

協定成立を協定成立を 事項に闘し 内で着任挨拶に来社 盟專任理事田中真茂氏は十一 ので着任挨拶に来社

成な知る所なり、 大変の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞つては 業界の諸賢賞のである。 大変表別の 大 的細目協定 明日第二次會議を開催 次會議

会に を開き膨々本格的交渉に入 を開き膨々本格的交渉に入 を開き膨々本格的交渉に入

着任挨拶に來社

田中真茂氏

/備言及の 付書明証

この手

紙の如何に依らず、僕が

の前も傾らず

黨する決意を述べ脱瀬国に安達總裁を訪問、國同 人事往來

▲佐々木宗一氏(熊本醫大教 ▲ 淺岡信祐氏 (大同殖産) 同 ▲大竹章氏(滿籤社員)同午

大使館 當局は鍛産之等排日團體の運 大使館 當局は銀産之等排日團體の運 高品談「中山水兵狙擊犯人が に爲さざるに於ては折角好轉 未に判明せざる際斯る不祥事 しつゝある日支國交も道轉を の發生を見たることは誠に残 見るに至るであらり、尙賞狀 念である、傳單の內容から見 調査の上工部局に截重注意を て共產黨員の仕業とも思はれ 喚起するつもりでもら 基だ面白からざる事實で支那 感がある、それは日支國交上 を氣が段々深まつてゆく標な ◆ 後來勝可氏、滿洲電菜)同 ◆ 金光康夫氏(東亚煙草礼長) 十二日午後歸京 十二日午的發率天〈 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京 一一日午後歸京

本村瀬文雄氏 率天治兵廠長) 十二日午前率天へ 十二日午前率天へ 「痛鏡計畫 ▲庵谷沈氏(搴天日日祉長)

▲ 藤原喜巌氏(北鮮製紙化學 本高橋一郎氏(山口縣學務部 ・高橋一郎氏(山口縣學務部 ・高橋一郎氏(山口縣學務部 ・高橋一郎氏(山口縣學務部 ・高橋一郎氏(山口縣學務部 恐村との約束を思つたからだった。ないのですか……」

の酸重保護方を要求した政へず南京路筋一帶邦人商店

し、今となつては、その一

件に關し總

護を要求す

上海總領事館から

路邦商の

その日く

は中國人

日撃者現はる

の誇り、先つ亜細距のリード東洋工業會議開く、工業日本 水兵事件といひ、 **と海でまた邦商襲はる、中山** このま

は? そして、サー・ 知ら言葉く願いておつたのです。

四人の帝福の『では、参美枝ざん

東代一は、東びに夢をふる

代での選ぶの

にして貢献に言つた。彼女は我れ

と、変代一は一勝乗り

出中

小山谷藏代護士脱黨、一業落ちて天下の秋ならぬ、護會迫 はこの過からか 影は? そして、赤寒の着調は?

に中の活材の手紙にもあつたやう

十分同情してるたからです。

に今の場合は多美性ひとり

その後十間計り

も片棒かついで行こう も片棒かついで行こう 直後とは皮肉を整察を告げる北洋に列車のダ も片棒かついで行

を 「反對の右側を日本水兵がその 無の黒背廣の男と行當つたが の黒背廣の男と行當つたが は濟まされぬ 見地から裏代一との総轍をするめと、東代の窓の方を見ると、四人の冷脳の『では、参

を容れる美の時期から初まるといった。 しかし自分が寒代一・精帆した てれは、多英枝が有代一の無

水の気がのどこかでは。 かっ気がのどこかでは。 で 変化一を しかう思つた時間、 代しる。連封も戦は、自分も事業になれるかも知れないと思つたか 「有職力、有職力」 になれるから知れない

東代一は異をいるはせながら、



変化一の云ふことが、今間いて れて、彼女は恩は字続く願いたのゐると何ともいへず娘の郷に思は

民刑訴訟 月籍事件及諸顯屈書 (永季町第) 前同所及同數祭署代書人 書 信 新京朝日通五五(永季町第) 第一章 化 書 信

梅ケ枝町四丁目十四番地 電話三-三三四一番 致ます

東京吉野町銀座街 房 雜 具誌

30女八人感觉時代 80 最後の切札八枚

貸

二叠風呂、物置其の他完備が入れ町四丁目七番地間数人、

六

御用の方は電話3三二四一書又は滿鎌病院亜門前班

財政部に對し其旨打電した 野策を協議中であつたが、昨 日現銀の中央輸送を拒否する に意見一致し直ちに國民政府

光りの彼方に= 大林 梅子作

四十六

二疊、玄關一坪、炊事場一坪

家廣告

場所 東五條通拾一番地

11

は十一日午後二時麻布廣尾の歌山縣選出代議士小山谷禄氏

一部が知れないといふことが 見れば、自分も変代一と結婚したが、柳本のためにもどんな い像を見たこともある。――して歌するより、貴女と樹焼し も結婚したのちには非常に伸のよくとしてもが、多数枝さん一ず、愛してもみない同志であつて

ては僭断な言葉であつたかも知 ○女方御兄妹にも、共転の勘し 彼女としては、やつばり否といい時に、さう云ふことになれば らうかり ──から思つた時に今の たい無持ちであつた。 ら配はさう云ふふうになれるで と、事代一は彼女の悲しみがか 間場 取所新

芙蓉町二丁

二(開東軍官舎西隣)

炊事場

志村の手紙を譲んだ多美枝は実ったか。どれほど思つてるたかを考 の際は命をかけて貴女 ○行国いたサービスは**屹度御補** ○行国いたサービスは**屹度御補** 本子で行料は御期待に深ふ機最低の料金にて御相談に趣じる場所は市内の中心地にして何處へ御出掛になるにも最ら便利 本家族的に優遇致します 本一室御一人標(各室共床押入付) いたサービスは乾度御滿足を得ることい確信致 新疆都四

旅館

下宿代、月三十五圓より(二食付) 東京市優良商品展示が、三二階間取、四量半押入附展望住息、室内明るく日富良間取、四量半押入附展望住息、室内明るく日富良間取、四量半押入附展望住息、室内明るく日富良

御希望の方は 電話(3三八八八百) 田

市内に保證人を有する者本人自筆の歴度書義等來談あれ 金庫事務用品其他像式アサヒ西倉夢京 公蔵より十九歳までの者學歷高等小學卒業以上 朝日通領事館前

電話 (3) 三三六九番

各種會社並不動產登記

大勉强

の丘地が、郷工業地域となつの丘地が、郷工業地域となった。そこは、今はまだ一種のりなりが揺れてるやうとかぶそれこそ工業域のにほひかぶそれこそ工業域のにほひかが高くのにほかがあるい。何も無い地帯だが一種近ここに関係な外装を

の丘地が、緑工業地域となつ 道北、北に無電台を臨む一帯

建茨煉瓦工場に隣接してわれ 建茨煉瓦工場に隣接してわれ

(B

十圓の窃盗を働き十日新京領 土を装ひて市内にて百数件数

日新京領

た際にいづれかへ逃した際に前てくるからと奥

農安、扶餘荒

首都警察で逮捕

小銃、彈丸もろこも

阿片吸飲所で

日本語に 巧みな女

ぶ名前を用ひ神来極東事情研究

ち出たま

そのうち残つても

未屆の方は速かに

室机抽出にあつた襲口より

。衛戍病院へ

1:31

侍從を御差遣

園の毛皮付婦人用オーヴァー小七馬路高揚氏が時價三十八小七馬路高揚氏が時價三十八十日午後六時頃市内日本橋通

を率ひ良民を殺傷し

部下として働いてゐた亦本年城に構へてゐた匪首根飢狼の 副頭目は昨年まで農安縣を根

と五景龍(四五)が南部爾羅 殿釣(三五)同副頭目紅狼こと伍

皇帝の畏き思召し

舞つて聖旨を傳達し、同三十分宮内府に歸着した、なほ宮内府出設、同十時同病院着、親しくわが傷病兵士を見院に御差遣遊ばされたが、同侍從一行は午前九時四十分滿淵國皇帝陛下にはけふ侍從武官通組上校を務京衞戍病

京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田 京城内東二馬路二十六號岡田

を出發頭目の隱家である内蒙 挺、管 は部下九名を引率し六日新京 ーゼル が前郭旗管内に潜伏してゐる 部落に

新京 ーゼル一挺、プローニングーへのる 部落に潜伏してゐた副頭目紅 のる 部落に潜伏してゐた副頭目紅

新京に初めて出來た

大康硝子

工場を見る

國都が誇る輕工業地域の先驅

午前二時数四平街へ向はれる

(あじち、これが、これが、これが、

時間餘に亘り今朝七時三十進歩せず復薦閉通までに十

(あじあ) 六百三各旅客列車

例の齋藤武

荒した

精を着用した二人づれの客が 川原田フェ方に溝鐵の制服正 川原田フェ方に溝鐵の制服正

の飲食をなしいざ勘定とな鑑入つて來て十五圓二十五

(車脱線から復舊に手間取り

年度内の會計報告あり、役員會議室で開催、開校式および

一日午後三時三十分から同校

新京ヤマトホテルへ日満各界 を機とし十一日午後六時から を機とし十一日午後六時から

今晩の主な

白したがなほ余錐取調べ中質し遊興に費消したことを自

松岡總裁

中六日來京

、島校父兄

2

東亞煙草社長

一様の連絡其他 を重ねた を重ねた

金光氏催宴

同伴本社へ來訪問馬子の開係である。同伴本社へ來訪問馬子の開係である。

京鐵道北民用路質起壓方よ

六小學校の開校に伴ふ通學區補欠推薦の件は近く第五、第

質を代表

質を代表して呂民政部大臣の他人表験十名を招待晩餐會を

一時間餘で

本・・OO宮本道行念玉蔓へ 東京)浄瑠璃宮本題多香本七 三のヴァイオリンと管絃樂、 「東京)桂貞植へ八・一〇歌 諸曲(名古屋)

ピンゆき第六百六十一貨 地點)で 上り「あじあ」は定時の午後 ・ 対撃城堡を發車、今朝六時二 ・ 対車は勢哈で現場復舊まで待 機し約七時間遅れ午後一時平 新京に到着した、なほ本日の がない。 をでは、 がない。 がな。 がな。 がない。 がない。 がない。 がない。 がない。 がない。 がない。 がない。 丁三時間目に開通

困難な沿線であるため思はし 一時五十分到着にが現場は交通、連絡上最も 上り「あじあ」線、徹夜で復襲工事に努力し 新京に到着した。昨夜六時十分ごろ貨車一輛配 機し約七時間遅 し 棚が傾斜脱線したものである 車 ・ビル不良のため挫折して車 か たほ貨車脱線の直接原因は同

から女持ハンドバッグと現 会二十三圓、同女持慕口と 会二十三圓、同女持慕口と 一門五十銭 本中銀グランドにて七月 二十八日頃三圓 本中銀グランドにて七月 三圓、九月二十八日頃三圓 本中銀グランドにて十月五日 頃一圓五十銭 本門公園九月三十日頃グランドにて満洲國官吏野球試合 中六十二圓

に現在父兄の轉動による寄附 か か
一次の寄附を仰ぐことは極
の完整へたいといふ方針の下
の力差整へたいといふ方針の下
の力をを
ののおけを仰ぐことは極
ののではさしづめ むことゝし、また兒童の多季域の變更まで現狀のまゝで進

11

松岡満織總裁は來る十六日午後五時三十八日午前八時預派行機で離井村へ向ふ豫定だが天候の都合で十八日列車で岡們へ向ぶたとゝし、雄羅線並に羅津ぶことゝし、雄羅線並に羅津ぶことゝし、雄羅線並に羅津

けふの

銀相場

昨夕城内に

カフヱートリオで

一人組無錢飲食 1一斎翁取したこと自白した日本橋裕源公司で阿片吸飲中日本橋裕源公司で阿片吸飲中 **三人組拳銃强盗** 十一日午後五時二十分頃新京 十一日午後五時二十分頃新京

明日遺骨着京 満各署に於て目下犯人嚴採中 し現金國幣八圓、金指輪一ケ 金腕輪一對、懐中時計二個を 强奪逃走した、屆出により日 盟奪逃走した、居出により日 ルピンから高木大尉、根本憲 兵軍曹以下十三名の遺骨それ (人)到着、同夜は長春寺でお 通夜行はれ翌十四日午前九時 三十分愛で内地へ無言の凱旋 をなす市民は奮つて送迎に驟

官は語る

りでした、 を 所持して あるの が出來た、 賊は相 が出來た、 賊は相 が出來な。 が出來な、 賊は相 が出來な。 がった。 と。 と。





震場に新築された淅洲電信電新京郵政管理局では此程大同の設置が要望されてゐたが 會社本館階下南玄關寄り 滿洲國郵局開設



青年學校後援會

總會役員會

敦賀地方

は意氣揚々と引揚げた頭目弾二百酸を押収し十一日一

野り | いまり | 線沿線では至る いら大時化となっ 遊離した通信、 船舶は何い 司朝來敦賀 因みに同郵局の取扱事務は左より事務取扱を開始した

を解散し更に双五自から二月日滿官憲の追撃で同部隊

窃取し 入質 下、國內及び國際普通小包郵 常郵便 常郵便 國內及び國際價格表記書 関丙及び國際價格表記物

あたもので

五全大會 開かる

冬

新荷着!

天脈と無温

上海の人心上海の人心

高版

洲

送內容見本

溯洲版画刊行會

未國本二丁目

小杉放庵、

中輝弘光 画

(兵の狙撃事件に続いて又

電二一三七谷

現代御好の

nn nn

を

一度お試に御來店を一定間間口で新京一安い

福田吳服店

六日午時五時から公會堂で同会總會並に役員會を開催左の件を協議する 喫茶梅園の不幸 、十一年度豫算に関する件、會對徽收に關する件、後接會役員に關する件約に關する件。 ● 電話五九八七番 へ 御用のお方は

年學校後援會は來る十 福岡日新闻

辯護士師大學

引地寅

治

数(3)A 九 Z ○ ¥ 数 x 和 Z ○ ¥

用防 品寒 ネクタイ クタイ く く

森門 野 電話《紅江五二書 商 店

院 入 往

t刀 亲見

需應時隨

嚴石

六五八六(3)電

開

業

萬石程度

新京総入組合加盟店 京都三―三二九二番 京都三―三二九二番 京都三―三二九二番

器、彈丸と殊勳の古質巡官)

披露をなして後、一路東上の同地官民有志を招待、就任の

辛ふじて維持する程度と見ら ・ ・ ・ ・ ・ である、その結果全関第二回

洛東丸竣工

院病畜家石立

處女航海は 廿三日

0窓 0丁

石減少でその割合は五分八厘

| し既に二三六、三〇〇| | 極機想は第一回豫想收

古賀巡官談

放身の拳銃と防弾チョッキに 武装した工部局巡警は一々通 で大の身體検査を行ひ不氣味 な緊張の色がたゞよひ上海の 第二回米收豫想 五千七百 羹羊色三

前正辯 判せ護 事位士 业裏店貨百京新延橋本日香七四一二(8)話書

場所、梅ヶ枝町 新築家屋 設備完全 家賃値下

新京土地建物會社

定許ある篠田へ ふとんいわた類は

着

宮山縣人會代本 十一月十二日 之藏實雄郎郎次邱作

便の表情、

色彩に依るもの

・六白の人

前途の見通しを

卯と午と

てれらを綜合した。

が如何に强く男を誘惑すべく 表情するか。 芝男の握りしめられた拳が今にも相手を舞りつ

迄給費され、地方出の者には 寄宿舎が與へられる、受融資 格は藝術教育を受けたか或は 高等専門學校卒業程度の獨習 者にして、演劇或は映畵の監 督の仕事に二年以上關係を持 つ者、入學試験は監督學に関

本井上生氏(朝日通り朝日アバート)男飾さん十日午後六年四十分死亡 本海田宗雄氏(祝町四丁目五番地)妻ハナさん十日午後 古時二十分死亡 上時二十分死亡 上時二十分死亡 中市九番地)男正さん十日 年前十時死亡 年前十時死亡

「筋」或は「話」の映像化にいて」に於いて映畵に於ける風景描寫について、に於いて映畵は單なる

表情機能を持つてゐることを

描寫の分析

映畵に於け

3

心理

年末、學生は一ヶ月三五〇圓年半、學生は一ヶ月三五〇圓年半、學生は一ヶ月三五〇圓年十月一日本十月に募集し翌年一月一日本の新學期の授業がある、監督科に就いては、修業年限二年、學生は一ヶ月三五〇圓

してある優位獨特な手段を充 他の諸々の藝術に比較して有 ではなく、映畵といぶ藝術が

する。勿論以上の害傷を**支**

、例へば絶望した男は 、苦しみの時には打ち の論以上の表情と動作 との苦悩を充分に表情 をある情と動作

天保安兵衛

四線の人

松竹京都撮影所が本年掉尾を

完成せまる

表情し、苦しみの時

長二郎、犬塚

・二黒の一

不安の傾向を呈

日定業を勵めば咎な

福祉は一家に滿

Rゼず勉むれば功を奏す

困難に遭遇す

先負

日八十月

歌びの

氣分を表は

的操作を以て滿足隨喜すべい時に於けるが如き單なる機

た有様だから仲々容易でない可は値か一○──五名といつ

画

に歪んだ表情をする。 常屋に入り、どつとベッドに 部屋に入り、どつとベッドに

「天保安兵衛」

損し

賣る

買ひよい

店

あります 各種豊富に

次女キクヨさん四氏へ朝日通り三十

厳選される

ツ聯の

新學期は 入學者は優遇

る実場の女に扮して當代無比だと云ふ折紙を付けられた岡田嘉子を加へて克明細心な犬塚監督が完璧を誇る長二郎の演技を如何に生かして居るか興味は此一點に集められて居るか関呼は此一點に集められて居るかまでは、
関中の浪人彌太五郎は徹古ると云ふのに長二郎は酒一

に思はれたのである、酸つて從来の大衆文泰の映畵化とは建つた 興味が感ぜられる、 興味が感ぜられる、 神吸の一致といふか、力の入 れ具合が只ならぬものいやう れ具合が只ならぬものいやう ないなか、カの入 オリデナス 「千兩碟」

▲ 場外三郎氏 ・ 電田 ・ 本 で また ・ で ま

居

八目丁一町菜连京新番八四九五話電

店の位本質品

(前ルテホ和大) 目丁一町士富

五十嵐榮三郎氏(花園町三

出

生

住

息



正しく豫期以上の好成績で ある、詮例は十二日行はれる 等であるが、果して如何なる 等であるが、果して如何なる 等であるが、果して如何なる は、演る人々が愉しんでゐた のは近頃の異觀であつた

神 白海 不 アンド 堂 廣

四ノ三町士富

紅

甲と乙と丁が吉 名利共に撃るべし怪我注意 一寸一ばい 告

耐けて進まざれば後悔あり ○七赤の人 我意を通さず識 者の言に從へば過ちなき日 甲と未と庚が吉 ●八白の人 投機的の計畫は 大凶忠實に本業を守るべし 別と丙と壬が吉 に特

店い多の品商

然來る十二日より

御得意慰安特別サーヴィ

賣廉大皮毛

日本橋通六三

布

路

洋流行



九番地)次女キクョさん四 ・ 大番地)次女キクョさん四 ・ 大番地)次女キクョさん四

ちおおこっ代に乳田

TA

版華豪の界雀麻!! 4 見

賞

コロムビヤポーダブル著音製上等網座布閣 上等網座布閣 上等網座布閣

品秀優いなに外は

品 七六五四三二

一台贈呈致します 一台贈呈致します

從業員人

急募

に優遇

す的

特製ハンカチーフ

間(十二月十九日まで一ヶ月間)期(十一月二十日より一ヶ月間) 高法に依る差引高と日々計算合計す大日本麻雀聯盟標準競技規定に依り最 速電 11111 町 (3) ノニ 1

付點央定方法



電話開通記念

權太商店保險部殿部太商店保險部殿

右正二領收候也但住吉町沃屋羅災塡補金 安東縣 濱材 木 店

金五千圓也

火災保險金受領廣告

電六七二七

清水

濱 治

作

所

(洋間) 八種、二種、(日本間) 八種六種六種六種(敷地) 三一丁 目 七一番 地 溫水煖房水洗式便所

新京特別市新發屯清和街第一〇一號

東亞與業株式會社新京出張所

香しい 珈琲! おいしい 満毛のランチ! 是非御試食下さい (女給仕募集) (女給仕募集) しました 是非御覧下さい! ルリグ毛満 に近 百毛満 に近 下さい ルリグ 毛満

むろん、詳細には入満数か もちない。それにしても、大體 の傾向は上表で理解される。 又これには、主として北部支 那に於ける人口の相對的過剰 そしてその經濟的機構の破壊 といふ、そのやうな形勢が年 とかる、そのやうな形勢が年

▲海土來第三號水湖井PP 宗談決定,賣千二百八拾賣 一大連工事事務所 個 高 岡 組 電 萬四千五百圓 鈴木 啓 正

本路引 上海標

生

七一三一十四〇〇十五四六一十

を 特は 競売状態が 募集状態を超過される 一月十三日至十一月十五日 十一月十五日至十一月十五日

世界經濟への結合を推進した

移住漢人勞働者增加

でろん、詳細には入満数かれた。 1000 (減) 二五・0 (10-0 減) 二九・九

礼、六百四十八圓五銭 1-055-00 當 序 組 1-257-00 當 序 組 1-257-00 當 本 組 1-257-00 當 本 組 1-257-00 當 本 組 1-257-00 當 本 組

北支の・

人口過剩、經濟破壞

不の突堤で完成の上は片側壁は三萬五千八百圓である

洲製糖

「東京國語」農林省は本年度」様の事情に置かれてゐる關係 銀所、同十七、十八日昭和製工業が機が意外な減少発想」上昨年の交別法はその儘適用 鍋所東京出張所の喇所に於ての半穀政機が意外な減少発想」上昨年の交別法はその儘適用 鍋所東京出張所の喇所に於ての半穀政機が意外な減少発想」上昨年の交別法はその儘適用 鍋所東京出張所の喇所に於ての半穀政機が意外な減少発想」上昨年の交別法はその儘適用 鍋所東京出張所の喇所に於ての半穀政機が高外な減少発想」上昨年の交別法はその儘適用 鍋所東京出張所の喇所に於ての半穀政機が高外を減少発動の必要を病した。

和製鋼所の

▲率天農業專修學校電話架設

二萬株を公募

半作以下の農村を

農林省救濟せん

第二回收穫豫想發表後次定

二月二日、満洲に於ける申込取扱所は鮮銀の大連率天雨支店である。設立趣旨書には日満の國策に順應し、甜菜製糖に將來の重點を置くこと、新會社は日満合辦の滿洲國人た

日 般來上流から流氷を見るに至た 【ハルピン國通】 松花江は過新 松花江は過

第一回株金拂込期日は本年

港埠頭工

· 例)

るものであると述べて楽會社の株式を所有せ

落工礼事

電電電間

米收穫像想

・ に、日本の原籍 ・ に、日本の原籍

ラーニー트 ラーニーニー ブラーラ 5 付

生てるる膨大を張の動にしたやうなれをながめるにつけて)が出は

性を整理の郷望

な実に打たれ、動感にひきす

★大阪棉糸

(禁土)

史

氏生

es es

誰が殺っ

た

九日よ

奉天で

特產資金

益通、 益發兩行

へは増収 栗京國通」農林省第二次發表=十月末の米收穫液想=北表=十月末の米收穫液想=北表=十月末の米收穫液想=北表=十月末の米收穫液想=北 實收高より二、〇八一 野、岐阜、静岡、大阪 野、岐阜、静岡、大阪 野、岐阜、静岡、大阪 野、岐阜、静岡、大阪

は 【率天國通】新京に於て相當 り態よ結氷期に近づき昨十一 をを携行し來り貸付を開始し り航行を終る事が出來た昨年 金を携行し來り貸付を開始し り航行を終る事が出來た昨年 金を携行し來り貸付を開始し り航行を終る事が出來た昨年 金を携行し來り貸付を開始し り航行を終る事が出來た昨年 一金を携行し來り貸付を開始し り航行を終る事が出來た昨年 一一位 ところによれば兩銀 の船止めは十一月七日で本年 一 に及んでゐるところによれば兩銀 の船止めは十一月七日で本年 一 に及んでゐると ころによれば兩銀 の船止めは十一月七日で本年 一 に及んでゐると ころによれば兩銀 の船止めは十一月七日で本年 一 に及んでゐると ことことでとして と ことってと ■ ACC 10 東亜 土 木 三 欠0*00 福昌 公 司 三 欠0*00 吉 川 組 10・欠0*00 吉 川 組 10・欠0*00 同 川 組 10・欠0*00 同 組 土 木 下 へ(*0) 岡 組 10・欠0*00 同 組 土 木 に 示談決定を見ぬが結局のと思ふのと思ふ

大阪期米 ないま

20° 20°

のであつた。

いっ、不思議なよろこびを感じて

うに続じて、

くるしな、脚え、

見でゐるうちに、實験が出來ると

であるうちに、實験が出来るとしては、生る震波子に責められるや疑山は、じつと、管域子の謎を、残さのために離れ得て、凝脱へ来であつた。

児

もしないで、自分から、吹む方法

な関係に関ってゆったのであっ

ては、装物し、複雑し

▲大阪人約

宣祖小

どうしても、突山に、かへさないつとし、際にとりあげてしまつて

は、気が失せはじめ、そのために

へおい、常品を、常枝子は、ちよ 牧山が、なにげなく、かたはら

するやうになってしまった。 まれ、したいに、その心臓を病後

際学へ

★大阪席化

いん。かつい

意味に

の、在滿大衆の と自分で言

〇二、八七五 1011, 113

●月月月月月 回限限限限限

划

の意識を、所み込んだのであっこりは、笑をうかべながら、こ

その前に、喉山に裸想の及ばす」そこへ、寒然に、寒烈響子があ

一日對処

三日

の事嫌であつたのだり

他人の知り得ない、提別な朝我

あったのだる

子は、不思議な事党をもつて、に

あつた。

一衛日後、海中に、宮枝

刺説をたのしび人知れ的幸順でも

それは、このうへない、物料な

八日限

第二回資 第二回資 第二回資 第二回資

开一六分七

八分三

十一月二日前場) 衆を置き忘れて國策は無所は、もう少し安價な砂断は、もう少し安價な砂のる、まあ、在滿大衆の

第二回賣 二九弗一六分九 第二回賣 二九弗 八分五

·神戶豆粕

张車

第一回寶 二八弗二次分三

化古 小麥 網 二三三 留 記 小麥 網 記 三 三 留 記 記 三 三 留 記 第一回賣 示

英為替

、そして、 んとは

ちまけ、長い

三宮比〇〇〇一三宮比八分七 ★大阪株 元(短期)

▲長春大街道形窦浩工事(大 經路大馬路間) ※ 樂 顯 ※ 樂 顯 ※ 樂 顯

天 短期 元(短期) 大:121 月月月月月月月日限限限限版物

大型三石 →三日根 二十 150元 ガール四

经验金金 二十八日限

野夫人に神見されさうになって**強** 出たのであったが、さうして

質つたらところが、何か温かいと のをとりなさいって、お言葉で

●御倉食に御利用下さい

吉野町一丁目十九

電話大和分局三—一個〇二四季

度技事に続はれて思び込んで、他

鎌倉の別邸へ、ひそかに

(土月七日前場) (一石植設) (混合百片植設) 寄。引 出來高 から、喉山は、非常な書間に襲はされ、その化石のやうになったが、 うつされたのであったから、誰 なところへ捨る。薬液はコップに 変衝を感じはじめたことであっ とを恐れて、悪液のはいつた小一らにれてき れは富禄でに関して、現心節 と、今ひとつは不思義な、 したことは、気つかれ それから年間が発見 つたの こと、苦しんでるたが、つひに、 ら完全にはなれて、な枝子

れは本班から電話のかか を楽しんだる 泥棒(第官の凱問に歌して) 泥棒(第官の凱問に歌して) 議然な候権をつて、日夜、たら かくれおしせたのであつか 最晩からオ and. その頃、富枝子の外談に 美¥ 0

> デバ ト大





で一人の女か



料金六十錢 御希望の方は左記へ御問合せ下さい 二食付 一、一食付 一、 一食付 一、 一食付 一、 一食 「一、 一食」 電話@四九三七番 共榮社

局級下宿 滿蒙紹介事務辨事處

室町二ノ一田中

各部外勤主任採用(五名)保證人、履歷書、寫眞(要二通)保證人、履歷書、寫眞(要二通) 電話三八六五〇九番 堂寮

新京筆耕計

で に際して年賀状の表書を僅少の料金を以て網を は並トレス

有給女中 生長食堂

●其他ライスもの。うどん●

お手輕

甘業には常店自侵滿腹ぜんざ 配差生長辨當二十銭より 出前迅速 朝日アパート角 赤あんど

長食堂

對支新借欵成立には

早会 同意方馨促した 同意方馨促した

現地の詳報待つて

邦に對し

を逮捕、ハイラルに治致し で逮捕、ハイラルに治致し で逮称での外崇兵二名 で逮称での外崇兵二名

軍定

別異動豫想

一、西大將の後任として臺灣 軍寺内司令官、其後任は第 一師團長柳川平助中將又は 畑十四師團長 畑十四師團長

の陸軍異動中、

來る十二月一日

軍事参議官で

東久邇第四兩師

を固むるに至った

も支那當局の排日取締りなどの傳開の内容からして共産黨員の4年を入し、などの傳用

海市な局に 嚴重搜查要求

飽まで賛同せず

日本軍司令部に向ひ

救援を請ふ民衆

銀國有令に北支の怨嗟器々

結果たるや一部關係者の私 で益々窮乏ならしむるもの つゝあり なや南京政府の財政教急の 利以外支那をして財政的國 にして心ある支那國民は無

マク外一箇所に滿洲國總領事中であるが、右の内ハバロフ

ハバロフスタ外三箇所に領事外交部に於ては康德三年度に

題なり

狀況を見極む

ソ聯筋違ひ

の遷延策

り來つた、

、之に對し滿洲國側

隠忍して來た。

的同意の

でも放置し器 ン、率天に總領事館を、又滿建國當時以來 勝側は滿洲國内に於てハルビ 豫算編成の都合もあり尚亦ソ

建関直後既にソ聯側に於て主義上異議なかつた所で、殊に

頻發する

事件に鑑み

天津各銀行代表者

銀輸送防止の新對策を决定

本 に中央送金を防止する方策を 決定した、天津設行管理委員 であつたが二三日中に購贈する組織の下 地經理を當てる事となつた、 周氏は上海に於て對策協議中 であつたが二三日中に購贈する組織の下

を興へるものであり中央の甘言に

の豫算は一昨年以来計上され 態度に出でたる爲右兩領事館

日滿兩國を刺戟したが關京軍 張兵の不法越境事件が惹起し では、満洲里會議の成行が重

震側の不法事件は去る六月一次の不法越境事件は軍においても既に度々報告を受けてても既に度々報告を受けてても既に度々報告を受けてても既に度々報告を受けて

下旬の関東軍測量隊員拉致下旬の関東軍測量隊員拉致

養一大將も多分參議官に親補實でこの他東京警備司令官西

蒙越境兵逮捕事件

でも重大視

十二日午後三時同事件に

対象政策としては頗る微温的 が新事態の趨勢にある河北の が新事態の趨勢にある河北の

の口質の下に實現を阻止する とかりよりの指令未常等種々 は直ちに強算を計上し態々實 現せむとしたるにソ聯側は態度を豹變して時期尚早或はモ を変の下に實現を阻止する

中に闘津会

きのふ關東軍で發表

、全文大標左の如し、全文大標左の如し、

採甲板

新京

の東洋工業會議

吉川商會

中銀俱樂部懇談會

満洲國の工

業現狀を説明し

關係

近くカナダ政府より正式に強なほ下交渉の經過については

は來る十八日入港の繋河丸で【大連閾通】丸遊新大連市長 丸茂大連市長 十八日着

憲政を實施せよ

宋哲元氏が中央に發電

と通電を發し固き決意あるを明白に示し

ツ領事館増設問題

早急解決を要望せん

以來カナダ政府の專門委員間オツタワ駐在加藤公使と數日 纒り次第キング首席と正式交 に技術的下交渉を開始したが 渉が開始される後取りである

一百萬間を以てこの事業に 深統制下に在の採金事業が國 深統制下に在の採金事業が國 北村 民也 共金會社 北村 民也

議題で提議説明と質疑應答を

餘名出席し次の如き で、満洲に於ける地下水の採 後の治水利水の進歩は水力 酸電の將來を期待せしめる これに必要な貯水池は可能 性がある 性がある

選議局 電住 文男地下水の利用を考究すべき地下水の利用を考究すべき ある に必要な貯水池は可能 の将来を期待せしめる 治水利水の進歩は水力 によったが今 業公司 山口 本出

諸問題を討議 いる水力發電と 時本は機械に 題、 都市に於ける媒煙防止間

満洲の都邑計畫

中銀 佐藤 壬一 ・ は原動には急務であるり、煤煙防止は急務であるが何れは煤煙防 ・ は原動には急務である。 ・ は原動には急務である。

ものもあり、更には、のからり、又滿洲の社に対する観響を要のあり、又滿洲の社に対する観響を要

地るかし

大、満洲に於ける電氣通信 電々會社 関田勉夫郎 性能の不統一から電々の誕 生によつて完全な日滿の統 生によって完全な日滿の統 生によって完全な日滿の統 生によって完全な日滿の統 を入と摩擦はあるが電信電 活、放浜諮項とも設備の改 活、放浜諮項とも設備の改 金を以つて

満洲に於ける工業用語の 別の設定、機器の性質に適 別の設定、機器の性質に適 別な考慮が必要である、通信 関連に考定してゐる、通信 関連に考定してゐる、通信

多く用ふる

値下

金尖

備完

H

新京土地建物會社

梅ヶ枝町

戶戶

引越荷物建築材料運搬

井本運送店支店

山丸で來滬した

上本 ・ 「チタ」及「ブラゴエス かに「チタ」及「ブラゴエス ・ でもめ居るに對 張總 安東へ

所に領事官憲を

行し合計六ケ

本件早急解決方を改めて要望 不同意は容認し得ざるものない物態とより見るもり聯側の き外交部に於ては最後 吉林、延吉方面の軍除尉開を である。 一古林、延吉方面の軍除尉開を である。 一古本總務縣秘書處長等帶同十二十四兩日を室東に没り十七日衛京 中午前九時新京發一はと一で 中一十七日衛京 一十七日衛京 一十七日衛京 一十七日衛京

るにつき外交部に於ては不同意は容認し得ざるも

の肚をきめ近くソ

恭三氏(同)同ハルビ

强 壯

萬年 安心して 3 ¥2.50 - ¥3.50 理 ٤ 0 西山萬年筆專門店 用は

最く30五八〇九年

病 衰弱で 院 (1)

栗原武是先生創製断然ヨクキク:九州帝大将學部研究。婦人産前を後、 コロイド鐵ベプト

は一向に當てにならないマこの の高根を永久に絶つべきで、 このまゝ棄ておかんか彼等の このまゝ棄ておかんか彼等の

日本賣藥會社 大連、奉天

特約店 京富士町二丁目二十七番地 國際運輸雖新京支店

岩二開聯スル業務一般 一覧取事 歩ノ計算 1 来 为請負、 の五〇二六 軍海經金會保庶店

百五千四第

意を関め今朔日中に外着、大近く正式回答を通達するの決例政府の通告に對し政府は を固め今明日中に外登、 動請した

府幣制造革養金の一部として「東東十二日登園通」南京政

交渉のなかつた 交渉のなかつた を関係に東大

るのみならず列國の對支極 で変勝對第三國間に新借款 の成立するが如きは支那の の成立するが如きは支那の で変勝到第三國間に新借款

を分明せしめ英國政府の對支 を分明せしめ英國政府の對支 を分明せしめ英國政府の對支 を分明せしめ英國政府の對支

で左記内容の電報を發した の名を以て本日國民政府宛

東省も

對英回答に就き各省會議 斷乎たる措置

我當局决意を固む

陸、海武官招き

せず、重大な結果も懸念して ち獅子たる指置を取るの決意 訪問、同様の要求を信 漸次各地に被及する虚なしと 陸海軍も現地よりの詳報を待 に事務總長フツセンデもに誠意ある態度を示されば ゐる

【上海十二日發國通』 石射徳 関事は今朝十一時市政府を訪問、吳市長は五全大會出席の ため南京へ出張につき森秘書 長と會見、南京路事件に賜し

等が各々何れかに振當てG 等が各々何れかに振當でG 等が各々何れかに振當でG で は弱いと見縫れば何處までよる。後ろう▼元來 支那人とい

を自省さす

と幾萬べん繰返しても同じたと

では韓出しないものと見られ て後等に張黙手段を以て臨むすべきではない、断々乎とし

橋本中將着滬

回の襲噪を終べた前陸軍次官(上海十二日發國通)南支方

有吉大使ご重要協議

革に對する日本朝野の反對態

下交涉開始

、水兵狙撃事件並に削

京路事件に闘する今後の對策につき重要協議有古大使は官邸で飜谷、佐藤陸海軍武官を招

銀國有令布告

は必然である、以上の情勢に を保持し、政府は國内の通貨準備 本のため永續的對策として一 九三五年十一月四日より施行 すべき政策を決定した旨が述

の:轉:

初

(=)

社

P

口會長聲明發表

や、新聞に發表たのむ ・、新聞に發表たのむ

でまれては如何 たてやる事を、少々イタリ がてやる事を、少々イタリ

心聯盟委員長殿に

後四年間に 亘りその数 百萬 といはれる在滿鮮人の統制强 といはれる在滿鮮人に至大の利 標移護等在滿鮮人に至大の利 標本有する重要問題を整へ更 高減計今や治外法權撤暖、限稅 の本格的統制指導に乘断の精進を 連成すべく愈々十五日を以て 全滿朝鮮人民會聯合會長前 に入ることになつたが、野口 全滿朝鮮人民會聯合會長は移 を事に當り全滿鮮の各機服。限稅 に入ることになったが、野口 全滿朝鮮人民會聯合會長は移 を適の に入ることになったが、野口 全滿的 に対し、左の如 き夢皆の各機關並に 全滿的 に對し、左の如 き夢皆の百萬鮮

盟

(東京國通) 起人總會 十一日發 **同盟通信** 社は十

高常任委員は十二日第一回會合を開き夫々擔當各部門を定め連日會合し一氣呵成に創立の諸準備を完了する筈で第一回社員總會は本月下旬に開催の豫定である

大連市明治町一番地大連市明治町一番地大連市明治町一番地大連市光風臺一四〇永原大連市光風臺一四〇永原大連市光風臺一四〇永原大連市光風臺一四〇永原大連市光風臺上大海、大連市光風臺一四〇永原大連市光風臺上大海、大連市光風臺一四〇永原大路に大大連市光風臺上、大連市明治町一番地大連市光風臺一四〇永原大路に大路に新足であったが併した。 大澤の最近は高度機関をは高度を表したが、大選の表を失々贈呈したが、大選の表を失々贈呈したが、大選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を失々贈呈したが、入選の表を作ることに対している。

分駐所近く開廳

貸待 席合

第一回

第三回 第三回 第二回 第一回 第二回

第二回

株 六六六 九九九九九

大 111081

△銀國有布告要項 本告となって發令された、そ 一、一九三五年十一月四日 長の離明發表に次いで三日附 を通貨なるで致令された、そ を通貨なるべく、組税の納 大、公私債務の支拂一切は 大、公私債務の支拂一切は

第二元 第二元 第二元

入科

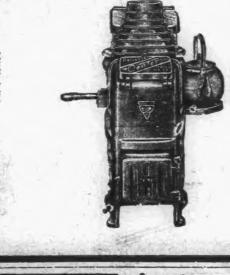
医学士

岩

ホ

大五三〇番

製造元



B 科科 往診入院隨時 院長 医学士 河野五百里 電三七 松 木

亨雕

キングバ號アセチレン燈 眞鍮製、優美、堅牢 モンク四號アセチレン造、水ス電車 敬愛する鑛業者よ キングアセチレン位を選採用なさいカンテラの業績に関心を持たれる方は 入人 サ徑徑』と 五一二百寸寸寸二八二 分分分分 五一二百 寸寸寸三 五九四十 分分分久 元造製

△△△△
續續一續 石 鑛 新京八島通四十四番坳 析 查 御及 選 測 介定量量 製圖及出願手續 業 法

西西山運 新京三盆町二万目 渓

品卸問屋 支店 電話(3)工 四人 奉天、新義州 =0

微委

告

商况欄

センタ

ース

新京取引所市兄

偽造品に

本寄 誕生日 二付キ

(土]月土日後楊) (一石値段) 寄。引

ーストープ御購入の際は特に指定販賣

品質粗悪なる偽造品を製作販賣

場

森出 幸夫

被委任三等給人級俸 整委任三等給人級俸 整委任三等給人級俸 整委任三等給人級俸 養委任三等給九級俸 養委任三等給九級俸 整委任三等給九級俸 整委任三等給九級俸 於委任三等給九級俸 大百里 整委任三等給九級俸 養委任三等給九級衛 大百里 於委任三等給九級衛 大百里 於西班縣

給八級俸 稅委任二等 稅委任三等 佐

爲物◆高大

鮮魚小賣相場 名百么 定販賣店にてセンター 目下謝恩景品付賣出中御購入は指

スト

質 一〇三、 本 向



TOXABAXA XXA XXA XXA XXX B XXX

満 市内食料品店にて販賣す

XOX/OXXOX/OXXOX/OXXO

SCHOOL DESCRIPTION OF THE PROPERTY OF THE PROP

五日新京移轉 在滿百萬朝鮮人教化の大運動 民會聯合會

▶ずらとは傷中◀

三、禁酒禁煙一週間やつてど却て大ならん「動と反動と対すて大ならん「動と反動とは相等し」と西洋人が言つは相等し」と西洋人が言つた事委員長知らぬ事もある

なつてゐると言へる、ここには、その報道機能については 関に人々に與へてゐるところ の文化的內容、その意義について、又特に本社が新京放設 局と提携して新人放送の機會 を開拓するに至つたことに關

一日午前十一時半より東京會 電に發起人總會を開催、出席 電に發起人總會を開催、出席 一切を一任すること」なり午 後二時散會した 後二時散會した

室委員慣重審査した結果次の を要員慣重審査した結果次の

殺委 敘委任

在 11二等給月俸八十八圓 11二等給入級俸 11二等給入級俸

金

大連市若狭町一

洲

これは別に、満洲に在る各 りではないが、從來の満洲各 局の放送局に對して非難をする積 局の放送内容が概して貧弱で 文化の性質、程度よりして實 文化の性質、程度よりして實 なある。各局はまた、そのや もある。各局はまた、そのや もある。各局はまた、そのや もある。各局はまた、そのや もある。各局はまた、そのや もある。各局はまた、そのや が、しかし、われら内地へなかに代 たっしかし、われらは思ふ のではなく、その價値高きも ののだが、それら内地一流の專 で素くわれらの期待に添ひ、 われらをよく滿足せしめたで かなり、その領技が果し 人同胞に告くるの整明を発表 を認めた結果全面的に 大面のでで、満洲域の間は不可能の 大田を認めた。 大田を認める。 大田を認めた。 大田を表した。 大田を表した。 大田を表した。 大田である。 大田でので、 大田である。 大田でのる。 大田でのる。 大田である。 大田である。 大田でのる。 大田でのる。 大田でのる。 大田でのる。 大田でのる。

こせればなられ か

それは内地でも叫ばれてあるのである。そして又實際にるのである。そして又實際にった。 そして又實際になるのである。 ず能を伸ばすべき機會を與べることは、それだけでも充分を主ない。 新人にその由は少しもない。 新人にその由は少しもない。 新人にそのおよことは、それだけでも充分を強っあることは、それだけでも充分を強っあることであると信ずる。由来、大罪から離れて整ちに大衆とともに在らなばながぬのである。

管理通貨へ

今文、アマチュア新人の放 今文、アマチュア新人の放 特なかつた。然るに、 寿集に であった。 然るに、 寿集に であった。 この各種目に 直 のであった。 この各種目に 直 のであった。 この各種目に 直 ちに 凝表され、 選ばれた 新 の文化享受の悦びとなる であった。 であった。 この各種目に 直 ちに 凝表され、 選ばれた 新 の文化享受の悦びとなる であった。 であった。 この 各種目に 直 を がに がった。 この 各種目に 直 を がに がった。 この 各種目に 直 を がこれ、 おれら 清州

(三)

ある。これに伴つて在哈邦府 ある。これに伴つて在哈邦府 並に邦人費本家のキタイスカ ・進出熟頗る旺盛でキタイスカ ・地出熟頗る旺盛でキタイスカ

をしつつあるが、日満南岡軍 ならずして王道の風に騰かん ならずして王道の風に騰かん

大同二年奉天都市計費委員會が設立されて以 中銀より四百萬國を融資

情畫

店では過数米岡門站西方の一建設

民を苦しめつつあつた距側は「華天國通」東邊道三角地帶 日満兩國軍警の組織的な討民を苦しめつつあつた庭園

運團に對し猛烈なる追撃を加つある政府當局の宣撫治安工生堂、蚰蜒地方では民福祥の 雨軍の淮撃に並行して進みつまで、東部三角地帶では闊っる段取にまで進展した、日清

作は着々成功し良民は王道の

AT TO CONTRACTION OF THE PARTY OF THE PARTY

普及に感激してゐる

岡們國際温輸に

電話 市外通話

お灸

發信 九五三

サック サック ゲギ

輯安、桓仁、通化の縣境に包へ今や楊司令の率ゐる匪團を

討伐に松事する日浦軍警の勞 の手を通じ右金額で慰問袋をの爲幾多の困難と♥ひ、匪賊 七圓七銭に達したので教育廳中學校生徒は滿洲関治安確保 であつたが金額も合計七百十中學校生

に花の美観を呈してる

最後の

一人まで

日満兩國軍の徹底的追撃に

東邊道匪團殲滅近り

MEDELS TO THE SECOND OF THE SE

電信 強信 元、八八五電信 強信 一部の激増となった、大三四の直通連絡により中継信は實に四千五百六十一通三百八十

大連飛彈町 参

信電話局の十月中の取扱高は【岡們國通】電々會社岡們電

東三馬路無

遠慮なく来助されよ 合會本部(平井) 合會本部(平井)

七月取扱高

込を乞ふ臨時届い

E++五(3) BE-ノミ州諸人京都 社會資合融金和昭

翍

外商は今後日本人相手に轉向 外商は今後日本人相手に轉向 すべく日本語の奨勵と共に日 本商品の仕入をなし日本側へ の宣傳に大童となつてゐるが の宣傳に大童となつてゐるが

見山部隊方面在馬家店(小九

【ハルビン図通】濱江地區小 青山部隊大勝

反日宣傳文其他多數を鹵獲し

拳銃三、同彈藥四三、

敵の遺棄死體匪首以

感じ既に閉店整理に着手しず、維持經營に極度の困難

日滿勇士に

は大に此れに期待し入貨豫約 凍結せぬ新鮮食料品を配給せ

新京土地建物會計 配低利多額貸 配低利多額貸

2

慰問袋を贈る

奉天城内の小學生の美學

取出して來た、即ち從來主をつけて整理に着手するも

10早くも将来に對する見質力の減退により業態深

鐵道代表クリッ氏夫妻は十一【ハルピン関通】ザバイカル

交職一時間の後全滅的打撃を時馬家店を出發匪賊を奇襲し

安東巡視日程

偵知し戸塚○歐を率い同夜零

糸妻來哈

千五百米附近に蟠居中なるを題以下七十が老爺顧東北方二

三日夜張勝子郎並に朱愛民

作り十一日附で各隊に送った 右慰問袋は少年少女の心から なる慰問品に可憐な慰問文が

政實施記念事業として安東に 【安東國通】滿鐵では曇に帝

の發展が期待さ

金

日午後四時薔國際列車で來哈

佛亜兩銀行の破綻に依る

哀れ温床の地に袂別

特落の白系露商

邦人吸收策成らず閉店續出

代で邦商の進出旺盛

記念病院

月中約十萬圓の期限前導濟があり、東年春耕期までには本をもつて決済されるものと強をもつて決済されるものと強をもつて決済されるものと強

十五日工

倫縣の

A

畜工業の指導」である8 を を を であるがれてる を が には「牧草の改良」 であるがれてる 産業技術傳習所を設け毛皮の省公署勘業科では本年七月末

の見込みが あつたが羊は元

来雲古人の食料品として重視 せられてゐるため手の優良な とて緬羊の改良が失敗に終つ とて緬羊の改良が失敗に終つ 樂しさを慕つて滿洲國と同一やれば近隣の不幸な豪民族がやれば近隣の不幸な豪民族が とを證明するものである、、次經濟的に目覺めつつある。 合作 奉天信用金融 七月末までに完成の豫定で

萬廣生

告相談所

三一六九三七番

企回回写 同金念系 八人四大 十十十十 钱说建立

電話玉板

江

ば

余內

は

時までの間 隠じます午後二

阿社廣告部

良

路官職 御用達

毎夕五時開演三日間

カネタペン店

を見るよりも明かな事であるの政治運動に参加する事は火 (毒天國通)率天に於る唯一 を作社は開設以來非常な好成 合作社は開設以來非常な好成 会性社は開設以來非常な好成



おどり茶園へ

タイピスト

徒募集

茶。茶道具。

日本タイプ 綜合教授

都市大率天建設に向つて着々於ては人口百萬を擁する經濟 於不は人口百萬を擁する經濟

内部的工作を進めてゐたが、 之が第一次計畫資金四百萬國 の調達に關しては昨年來內地 銀行團と折衝中だつたが此程 派別の金融統制に依り離色を 來たした為新たに財政部に交

通大

新京 出張所

格的に都市計畫に着手する車右四百萬圓の融資を受け事るに契約成立愈々年變りより本

なつてあるにもい

狗らず既に十

付か主として農民を對照とせ

九十萬圓に達し貸付

富士町御門 は錦町一丁四 世紀

切貸及負請 ひ入の九六三(3)量・八ノ三町階 司公澤重動自和大

性婦產

隨

時

0廣告

0

御

命

は……電

話

米柴町一丁目(ダイヤ街) 笹最高會内 笹最高會内

日本橋通九一

(朝日 瀬交叉點

院

病科

津醫院

病ひ

は蛔蟲から

独女館 サッドの よ

00-11 00-1 (Mar-1 Mar-1

其他蹈樂材料一般 別 遊、碎石、セ

福海商事

院長醫學博士

津

亘

3 六五五0 新京浪

電話

と金融

荻

電話店 本電話店 融金產動不

張場一棟五十坪の倉庫四棟を 新築中全部今十一月中に完成 の運びである比の倉庫は全國 で、冬季中に凍結するビール サイダー機詰、果實、高級野 サイダー機計、果實、高級野

部融金事商福丸 番の五五六(8) 話電

同

產

竹田靜子 內藤千代 院

人院往診 (鐘廳點) 電。五六八九 石井君子 タオル(撚 平 糸) タオル(加工品一切) ガーゼネマキは肌ざはり保 温申分なく衛生的で一般家 選に愛用されて居ります

大連市大山通四四





草にしよ は安は







他の食物の

ふのだから 助けるとい

71.

PI

がどの位の滋養價値と

右になくては

ケ年以上のを「

この「なみ値」といつ

荣養素 るか?

ず、砂璃や倍や蜜などで出し には、あの甘い味を翻で出さ で、水に甘味噌の場合

でせら。 実暗汁は十一鍋で煮 します。 味噌汁は十一鍋で煮 へんかく がライン と煮立てすぎます。 これが大 と煮立てすぎます。 これが大

度の即ち毎月三十四

一個だけ債

るに限るで、サッと煮立つた

なお料理の仕ず 婦人方は研究-

◇紙上法律相談◇

賴母子講途中解散後の

保證人の責任は?

なくてはならぬもの

断然カロリー が豊富です

い光澤を持つもの程仕込んでから貯蔵された上等なもの)(2)匂(紬のとい匂ひが何となくブーンと鼻に吹るもの程上等です)(3)味(たとへばお味噌汗にし味ったものは、仕込みの充やうなものは、仕込みの充でない悪いもの。鹽が返って甘く感じるものほどよ

た はのて大體見分ければよい の場合は區 が、やはり以上のやらな原則

ふのでなほわ

からなくなり

っても、百ガラムで一六四

に不定せぬ程豐富で

押したのです。
即と並べて署名し私の認印を 場合)に債権者のためになる

て金額の所は空白でした。宛した連帶借用證でした。そし持つて來た紙は月賦返濟を約 なりませらかい。 っか(不知法生) 「R、私の債任はどう

又は落札の方法により各講職出し一定の時期に一定の金員を一定の時期に一定の金員を にしませんので遺憾ながらの實際上の取扱方法等を詳 來ませんが、元來賴母子講具體的な法律上の解答は出 員をして輸出の講座中より 一、講の規 が、且講

たる會主との間にのみ契約の場合には講員相互間に資金の組融通を目的とする一種の組融通を目的とする一種の組 関係から言ひますと前の として同様の方法で爲す

「日滿語講座」 臨時休講 「日滿語講座」 臨時休講 「田滿語講座」 臨時休講 「鹿兒島」 ― 都城飛行場より中繼 ― し、二〇 解臍市況 (鹿兒島) 一つ、〇〇 家庭講座 (鹿兒島) カたゝかい飲みもの かたゝかい飲みもの

一。〇〇 白天演 るがは 豊の演

ニー・ショード

演藝 (大連)

京引續き新京) (大連引續き新京)

走雪山

一、講演「勝利への 公餘俱樂部票友 劇 (大連)

十一新M 三方式 赤塚久子 報(東京) 八二〇 時報・ニュース (放送文基縣賞當選作) 大二〇 時報・ニュース (東京)

八・四五 ニュース・経済市况(補語) 氣象通報・番組譲吉 無機

街の騒音に絶えず

雨隣りのラヂオ、蓄音機、赤 獣の中に切角の日曜日を目茶ん坊、酢漢、喧嘩等々四面楚 日茶にされて情瀬やる方なく 吉原百人軒

新後七時 - 戸田川お紺殺し 京山天風

会する、お甜は治郎兵衛の貸 が久方振りに江戸の出店より 放郷の犬伏村に歸る途中戸田 は郷の犬伏村に歸る途中戸田

破棄して新ら

大ダグで言(3)五四

市外野送送金確實

歌覧 長3三 人 八 五 暑

本 店 大連、支店率天、安東

質問では分りませんのでおと思ひます、又其支持の方と思ひます、又其支持の方と思ひます、又其支持の方と思ひます、又其支持の方と思ひます。又其支持の方と思ひます。 は事情を知つた甲

馬鈴薯の中身をよ

あつたので一口引受けることとし、私は甲の

そうです。?

東し、各債權者に承諾して貰 返済して行くといふことを約

×xa ×料 ×理

気象通報 番組 田中

飛行機上より見たる燈火管 飛行機上より見たる燈火管 (南藤公本) (南藤公本番) (南藤公本番) (東京) ス 告

後七・五〇東京より】

れはお子様方のお喜びにな

と馬鈴薯の西洋料理)

ンチ

玉子のパルマ

京山天風北壁繁次郎

七三〇大 合唱 (東京) 上三〇大合唱 (東京) 一等三回音樂週間日比谷公會堂より中總二

社かけることになったが、フ ト隣室から聴こえてくるラデ オの野球酸に足を留め耳をす で然し彼は大第に淋しく心寒はれた無音の世界。その たまらなくなり8・0・8く、窓には堪えきれぬ不安 との約束を履行す トにとつて返し、妻君・・・・・・夢覺めた彼は急遽

坂卷春之助作·築地座連中演 にも浮世離れがして鬱まり反った理髪店―ものうい春の陽で、聴覺に快い剪のリズム……彼の夢―日頃の念顔叶つ

> 論洲事變 柳業债券 賣買 松尾盛男商店公社債 公債 高價買入

一、二〇 二、二、 (本語) 引続き、日用品値段(本語) 引続き、日用品値段(本語) 一、二〇 經濟市況 (大連) 性心身的三大區別性心身的三大區別李 歷 源 あた 人家庭講座

乳五勺、鹽、

発卵五個、

には目先きのかはつたあたゝでは型にはまつて趣が御座いでは型にはまつて趣が御座い 「前一〇・〇〇新京」

走いたしませら。

上等の蜂蜜を熟湯でわり茶

ムにとき御砂糖を入れてするいます。

の美男子がお紺同

ランブ

室

懸賞當選ラヂオ小説

東京を通り三〇天田地

玩是

さらしあんを御鍋にといて したらウドン粉を固めに水でといて適當の大きさにち切つて落し入れます、煮えましたら食鹽で御味を整へましたら食鹽で御味を整へましたら食鹽で御味を整へ おっかところを挽に盛つて

60

かっ

を少し入れます いでよくかきまわし いでよくかきまわし

東山天風さん…

人前位の湯で んで治郎兵衛に面會をまつの有様にて廿三年間恨みを





中年位のものを「なみ仙」一されますが、辛味噌は一ヶ年 を加ますが、辛味噌は一ヶ年 がし半年ぐらるの物がどんく かし半年ぐらるの物がどんく がとれる。間屋ではその

は仕込んでから一ヶ月、早います。まづ、普通に覆られてます。まざ、普通に覆られて

一、御質問の講が其孰れであるか分明しませんが各債権 者の承諾を得たと言はれる 当から考へ、恐く後者の性 とでないかと

第三回

音樂週間

合堂より公

選難したのがこれは又意外

より凄まじい音響の風

唱團の總動員

合唱

奈良の都をわ きて 信

大刀をさげ佩 作曲

ねるは誰が子ぞ

くの様く

田耕作

作作曲詞

自動車グラム

る人と、新刀を愛する人と二 の超越せるものあるがかならの超越せるものあるがかなら の超越せるものあるがかなら

井上刀劍店主·記

古刀鍛冶系圖の双文、概ね左 の五傳に分ちて見る の五傳に分ちて見る くして細く美くし、又少し まがシて沈やかにて滞少な は京風、相州風にて晴やか

がシたる如く即、発馬、双線、装馬、双線、装馬、双線、

金筋

スの母となりし君を讃え神とゐませ

(附管絃樂)

大行進曲と合

比谷

公

祝町二丁目二一

イザー」中の歌

▽三筋樋、菖蒲樋、樋先上、 きもの、菖蒲造り、 で語る以上該に居る以上該 音樂樂樂

するは即ち之れが爲である。

東洋大學男際 合唱團 ルナ・オリオンコールナ・オリオンコーラス 恵み充ちて神と共にいませ 思み充ちて神と共にいませ ま神とゐませ 混聲合唱無件奏 アルカデルト 作曲 合ココー号唱

風のあげ潮に

なったくないできる。 汽笛が鳴る

日本教育音樂協會選五十命の宮の神殿びで五十命の宮の神殿びで表が日の本の基礎と共に窮みなしまではと共に窮みなしまが日の本の繁榮は天地と共に涯りなしまる隆々たる國威の光り。

展へよいざやもろともに 関へよいざやもろともに 関いではななき 大地のむたきはみなき 大地のむたきはみなき 大地のもなきはみなき

伯附へルマン萬歳! では藝術と平和に充ち では藝術と平和に充ち では藝術と平和に充ち では一次での領主。 揮太塚

温泉浴を必要とする諸病 蒸氣浴(電氣マッ

泉鑛泉蒸氣浴所

胃臟病、皮膚病、感冒、 帽子哲

(H)

を動けて質はうと思って、相子と戦のために、毛ばだつたが、それはどうからである。つや出しをうからである。つや出しをものを見ながら特づれば、理由からなんだが、季があらである。つや出しをと思かながら特づれば、種間に、からである。つや出しをと思いて、相手とながら特づれば、種間に、からである。つや出しをと思いて、私に

Xさんへ有名な辯護士の名を があったとのですよ。社・二分ノー。こ との方が澤山いらつしやいま 大きなですが、頭の大きさですといるですが、では、 をやつとりましたが、その當 たら、組織ですが、頭の大きさですといました。 がはなほつだけた。 「私は、 ですが、の頭ときさいましたが、その當 たっ、 別ですな。多分、あの人達は 別ですな。多分、あの人達は がはないるが、その留 でものことりましたが、その留 でも、 ことで、頭を悩ますからでせ

金、明ち食物が輸送多く。ま

ではからあなたが新京にあらったときたの色々の観標子を伺ひませたが、その他々の観標子を伺ひませたが、ところでこんなことを書つたって設はあなたが新京にあらったと母にならないかも知れるのではありますが。思へば私を行たたに私の最初の純情としたのではありますが。私はかれたとのあのです。思へば私達はかなんとした。これではありますが。私はかれたとのあのではありますが。私はかれたとのあのがはなのようによってひしていた。これがらとした。これがらといから既に月日は一年ではありますが。私はから既に月日は一年ではなりますが。私はかりませんが、とこれが最近によっておりますが、私はなりますが、とこれが、といからという。とこれを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。これを表した。

胃病に悩ま

生活を送つたことがあるのだ 生活を送つたことがあるのだ 生活を送つたことがあるのだ。 生活を送ったことがあるの表 生活を送ったことがあるのだ。

十一月廿日は文豪トルストイのでソヴィエトでは目下國を 場の逝去後廿五周年忌に當る のでソヴィエトでは目下國を 事げてその祭典準備に大童だ中でもトルストイに関する世界一豐富且權威ある資料を誇 技展覧その他各種の記念催し をなすべく準備に忙殺されて ある。 の橋オポレンスキイが密贈し た資料が元になつて成立した ものでこの資料はトルストイ の種々な論文の下書並に校正

横子よお前はあくまでも純 を動いて見動にこの俺はお前に とつては今は唯一人の娘である をを動いて見っては今は唯一人の憎むべ さ「色魔」であらら。この度 の事件の結果としてお前の採 つた行動に依つて見るに確か にお前はそう思つておるに違 がない。だがこゝに俺の告白 を翻いて見れ、俺はお前が裏 を翻いて見れ、他はお前が裏 を翻いて見れ、他はお前が裏 を翻いて見れ、他はお前が裏 を翻いて見るに確か にお前はそう思つておるに違 を翻いて見るに確か にお前はそう思つておるに違 を翻いて見るに確か にお前はそう思つておるに違 を翻いて見るに確か にお前が裏 のだ、然し、棋子よ、許して やし、横上げて るを妻を思ふと堪らない横感。 のだ、然し、棋子よ、許して 他は部 (上)

然し現在の私の生活が何故 を言かいと常から考へてあたってする人へです。ほんとに降かです。はんとに降かです。ならない生活を初めたいと常から考へてあたって下さらかです。私は一ないまです。ないません?とは確かです。私はは何かられたいと常からおい生活を聞いてかられたではさらないです。私は一ないなんですけれどもと言って下さいなんではさらないとではなんです。大いと言いなんではならないと言っないともと言ってです。私は出来ではない。一との強力にあるとを見れている。との強力によりなどうではない。との強力によりなどうではないと思いる。との強力によりなどうではないと思いるとしている。というないというない。

お五に髪し合つで性るたのだが若い修建は何の考へもなくなお五の髪を燃やし強して火がお五の髪を燃やしまして火がったのだ。そして後はこの三にからの生活はたな一場の昔のとして動めるお五に結婚の約束までしてみるお前と髪し合ってやったのだが、後はお前を心をものだったのだのを引き出してあるが、後はそれが今後のやうな抜きさしならに呼んでやつたのだが、後はお前を心をしてみなわけでところが、後はそれが今後のやうな抜きさしならに呼んでやったった。ところがなわけでところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなかったのだ。ところがなからないに、

▲協和報(十月廿八號) 論説「縣聯實施矣」「關於 日華共同防衛赤化陣勢」等 なほ連載長篇「王道光暉」 なは連載長篇「王道光暉」 なは連載長篇「王道光暉」 が記二十一、満洲國協和會三 が表上」関藩「配民」等(發 行所同上) 行所同上) 一月四日號) 新聞批判(十月十日臨時增 刊) 新聞批判(十月十日臨時增

皆油味噌は

はいる。 はいながしない、関係を選びあります。 はいながしない、関係を選びあります。 はいなが間がを調整を選したべるとい、変が配着観の選い後続を書るとい、高を運動のすいない。 を記述をいるので、中年の人に出て来がもり、金銭二、三時賦たつところが組みますが、 なから場際のところが組みますが、

五周

年忌近づ

モ

ワ

·國立_

痛みがとまり

化學業職と全

では、この郷やけを被つて置いたちどんな危臓があるかと睡しままれてたまれ、窓には吐起であっために実まれてたまれ、窓には吐起する。

新京美協展での一感想 描かないか?

を育職の歌院にもだいに役立つ時 に移行する様なことも職ではあり を動儀が現はれたら、これを早く の戦儀が現はれたら、これを早く

ヒマシ油を濫用すると大害がある 力 胃

の手當

そこで近重では胃臓カタルを肌 のに治すために、験米の治療界 から我臓にも行はれるやうになつ から我臓にも行はれるやうになつ た、ヘーフェといふ微生物の服用 が質用されて来ました。

合資

出前記速

I

電路(3)五九六〇番

的第三 可望三 9二公三

番品

ナン・ブラインド 張 県 黒 家 具

タル、膀胱カタル、 ります、一部に ります、一部に

らに嫌がることであります。 炎 症 が思り、これが他 んに題る無常い動力タルは、青 から出来で居り、胃臓対験の無害の無害の ります、胃臓対験は、無数の無虧 ります、胃臓対験は、無数の無虧 ります、胃臓対験は、無数の無虧

二十国近くも、下痢することがあっていけて腹腔する、歯しい下狭いにかけて腹腔する、歯しい下 6 て、熱え出した状態ですから、細胞が変の消化分泌作用や、食物を もみ渡し、浸り出す蝋動作用など が配かなくなつてしまひまと、 れが観聴の配 このひしがれた細胞の働きを立 服の激しい胃臓カタルには、気養素が含まれてゐますから には、此の像力が

のが、恰度一時年ののが、恰度一時年ののが、恰良一時年の成ましていましたが、からとこの度法を見いたが、からしてきましたが、からとこの度法を見いたが、からしてきましたが、からいるのが、恰良一時年ののが、恰良一時年ののが、恰良一時年ののが、恰良一時年ののが、

胃酸過多 症とは りぬ胸やけの原因と に重曹の濫用は悪い

である。でであります。 でありますのでも、 「臓がよいを である でもり、 「臓やけがする でもり、 「臓やけがする でもり、 「臓を中のでもり、 「臓を中のでもり、 「臓を中のでもり、 「臓を中のでもり、 「臓を中のでもり、 「臓を中のでも、 」 「は、 」 」 「は、 」 」 「は、 」 」 「は、 」 」 「は、 」 」 「は、 」 」 (わかもと)がこの乗であります。

は豪物の中毒、疾に下鴨の電用

識を濫用したため

ガスを發生 さいこの炭酸ガスは 関して運転酸の分泌を 関いると異な 解すると なるほど を されて、 第十ぎた酸が自然に正常 これて、 第十ぎた酸が自然に正常 に酸し、 脚やけも止まりも、 正常に引戻す點 戦し、盲脳に急激な蜥動を興った ともと盲脳炎は安膜が大切ですの ともと盲脳炎は安膜が大切ですの ともと盲脳炎は安膜が大切ですの

家獨

族身

保証に作用もありますし、特に在来の化の作用もありますし、特に在来の化の に渡し、脚やけも止まりますし、 また胃機解を症を売く被置してあったを服めは潰瘍側の脚胞がだんが であってある人であっているがながある。 ものがいけなかつたのだ。と考へ ものがいけなかつたのだ。と考へ

それ故、心ある醫師は常にヒマ

シ油の濫用を避け、 かの殿いか見などかられています。

電燈料、 場所









家でホルモン、ビタミン等の作用で新 になりますから、聴い、二日解の歌店 になりますから、聴い、二日解の歌店 を出の仕事にも差支へる様なこ しみを暴無しにするばかりか。 適當の量があるので、 上消化作用が旺 刀べ塗りには

なつていりますがお西も、

とよく懇願や二日解を起し、折角の髪のちゃっないで、飲み過ぎたりしますのでもあるので、彼

一人分#國 注射不要 Stang 東京一七〇〇香)から歌末側と能 ・ 東京一七〇〇香)から歌末側と能 ・ 東京一七〇〇香)から歌末側と能 横 ココマのコウファココマのヨウ 國都街尔 ココマのヨウファヨコマのヨウ 各位の深甚なる御醪援のその光る賜の一端として天高き明い 至る創業十周年記念特賣 奉公に一段の飛躍す 新しい各観生地の登に荷揚で パイの記念率仕のお勉振り





はれやか販賣店 並びに愛用者各位へ

脳症狀恢復の根本原則であるとは私ども給する事が頭重、めまひ、歯痛等色々な 鉄でする為である……、随つてこを充分補 其の疲れは脳細胞中に鱗、カルシウムが 真の病氣は疲れから起るものであり、 けてまかつた所であります。 が『はれやか』敬表以來徹頭徹尾力説し續

頭痛薬」ぐらゐにしか認識されない向きを今日尚は『從來のものより一歩進んだ。此原則に基づいて創製した。はれやか」 が少くないのは甚だ残念に堪えません。

養育はれやか」なる處方名を認可される をは監督官廳によつて認められ『頭の榮 を対しいでは、本剤の眞摯な良心的内 の漢章な良心的内 々、處方名として許されたのは本剤を以る種を使ふ楽品は現在無数にあつても堂 事になりました。形容詞に荣養剤といふ て嚆矢とするのであります。

致します。 り區別づけられた事を弊補は深く欣快と

御信婚式にいいい御宴會にいいい

おっぱく

理

省

室貸

風呂、煖房、其他完備、大人の一旦ノ六

改めて御願する次第でございます。 紫各位の御勉賣と、一般各位の御愛用を 故に新處方名認可を汎く御披露し販賣

ゆたなな

省話六一

四香日

まにする頭の榮養劑のんですぐ効く

西京派 日獨醫化學研究所發檀

蔡貫――三十鎮・五十鎮・一円・二円

二大特典 - 瓦斯代半額

二▼ 小 大▼ 一〇お一四 大損 ○間値多量 ○上段五字 園り▲園向 団六本 まで。

十まり右てつ撤収々色

ZONZ·3·四t-Z·3電=目T四断衣和

一瓶ノ

客尚上應持尚上精內技利用下

)富士屋電話3四 タクシー れつれ



掃調火

除節熱





利

茶

茶道具と陶器類

3話電

新

京

泰

洋

電話(3)六五二七番

0



ンピルハ 直部屋/中五十部屋=ハ各々風呂洗面所が附イテイマス・部屋代ハー日=付キ國幣1,50ヨリ御在イマスレストランカフヱーランチ(二風65銭) ディナ(一皿50銭) ザクスカ(三種25銭) 其他飲物等ハ價格 低廉宴會ハー人前 飲物(40銭)

國幣2.50 ョリ出来 御郵食へ價格低廉マスプサロン及ビジ 心付ケハ 御解退シマセ 時カラ始シマス 馬 娱 柴 場 神士歌女へノ理髪形 場 神士歌大・ノ理髪形 まテル事務員小露語英語日語滿洲語ヲ解シマス



ケ枝町一丁目







井 茶 園 機 黄青レ ベベ nn 市內食料雜貨店二 ア

メッキリ冷える・

サア



御用意を

遺骨廿

體着京

完全管

制の中に

された

部怠慢個所

第二回目

制にはいつた、定時より十分

ンの二分間連續吹鳴にて

がて五時五十分, 六時三十分 ・ に消燈され完全に敵機の製水 ・ に消燈され完全に敵機の製水 ・ に消燈され完全に敵機の製水

なし十四日午前九時卅分新京設列車にて南下各々の出る分廷吉より新京着何れる十三日新京長春寺に安置通夜、少廷吉より新京着何れる十三日新京長春寺に安置通夜、中戦弾を受け肚烈なる戦死を遂げた第○○際所屬故門は中戦弾を受け肚烈なる戦死を遂げた第○○際所屬故門は事業を受けれるという。又京國線方面にて匪賊討ち

を受け出されてある温床ケーブルを投房として夜間に電気を通 式投房として夜間に電気を通 式投房として夜間に電気を通 でることとし試験的に大 延神 である下の床板を一枚はぎ其

京濱線貨車脫線

東京市総人口東京市総人口

基明·

海洲總本泉

高

萬に達せん

卅二列車

夕刊既釋、京演線五家、望三時間 遲 着

調査部連報によれば東京市の

北浦方面にて活躍中名譽の職死を遂げた根本憲兵軍曹

1午後三時

明朝南下喪の凱旋へ

して暗黒の世界

超特急あじあも

燈火を隱

元成の鳴は思感筋の環質を避 となり質物は多數市場に現は となり質物は多數市場に現は

車(新京京

一十分率天に向け發車中間遅れ七時に漸く到年散のため十二日ハル東散のため十二日ハル東京着午後三時四十分)

では來年は六百萬人になる。 加敷は十八萬人で、この調 去五年間に於ける一年平均

車脱線事故の

相場は更に低落傾向を示して

着、同は約三

同二

深夜電力を利用

電熱オシド

衛洲電業公司の新試み

海山野町方で 海山野町 「本大図通」三毛本部除入電によるは小見山討伐縣梅原支 際南方地區に於て海山原約六十の匪賊と遭遇交職二時間にして之を潰走せしめたが右職間に於て東山原約六十四年後輩江東死亡。 「東死體二、匪首海山以下十名」

宮内省御東子御用達

監瀬總本京

一瞬

空襲警報 四本

特別市防護團が

最も好成績

分部では直ちに

ありとの情報に基き整備司

何つて 南下

しつい

報告する敵機は新京に

零下の宵闇

に吸は

全市静寂の都 糸観れぬ統制下 燈火管制演習終る

五時半各地監護哨より刻一刻 後五時より開始された、午後 での如き假想状況に基き新京 での如き假想状況に基き新京 一、満洲國と某國とは某係等問題に端を設し廉鑑元年春以來互に外交交渉を重ねつゝありしが折衝途に空しく十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて旺東の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて上東の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて上東の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて正東の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて正東の既定計畫に基き十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて正東の既定計畫に基ま十一月十二日午後四時には随時活動を開始し得るに至り士領極めて正東の既定計畫に表する。

交通整理班の活躍で 事故一件もな

満洲防空史を飾る好成績

本日の演習につき左の如く語

五百圓臺を割つ

差並に関意

対京の電話相場

事變以來の

安值現出

落着、

火はいづれも遮蔽されて無氣自轉車、牛馬重其他諸車の燈

この日新京勝合防護圏本部及 び新京特別市防護圏各分圏特 の午後四時それが一本部に集 め午後四時それが一本部に集 では武田園長高木總務部長各 では武田園長高木總務部長各

園長、補口特別市防護園長は「演習終了後武田園長は本部で令官濱本少將、武田聯合防護」して大いに志氣を鼓舞したが姿製管制と同時に新京整備司「自動車を絶つて各分園を巡視」という。 成田 聯合防護 園長の 感想 演本警備司令官と共に各分 動したのと、市民の方々が あって見たが関したのと、市民の方々が なくこの演習を理解されて ない、電々會社の程との方々が かった、電々會社の程とも成績は良好であつた、、電々會社のを が五十燭位の光が一旦にから市た、電々會社のを が五十燭位の光が一旦による が五十燭位の光が一旦になる をながめたがどこかに外 中をながめたがどこかに外 中をながめたがどこかに外 であつた、夜間は一 なるもので煙火管側にはお互 なるもので煙火管側にはお互 なるもので煙火管側にはお互 なるもので煙火管側にはお互

保は外勤を督嗣して市中の盗 ・ 本行ひ版石署長指揮の下に交 を行ひ版石署長指揮の下に交 を行ひ版石署長指揮の下に交 ・ 本での交通整理に當り司法執行 ・ 本での交通を選員の非常召集 近以西)概はね可なるも一部に於て居住者不在のため部に於て居住者不在のため部に於て居住者不在のため部に於て居住者不在のため。 東物なるを以つて敵機の愛 集物なるを以つて敵機の愛 場電梁公司祉宅、地方事務 所建築場、減鐵背費組合、 所建築場、減鐵背費組合、 所建築場、減鐵背費組合、 が第四分團(新愛屯)燈火管 制は瓶ね良好 を制ので、地方事務 制は瓶ね良好 を第四分團(新愛屯)燈火管 を別市區—一般的に良好な るも関東高 のの愛 新京署も

新設兩小學校の 開校準備懇談

昨日午後地方事務所にて

解除とともに解散した解除とともに解散した 滿洲國側田村財政部國 植木顧問、 一時より関東軍司会 瀬洲関政府發表 = 第

電司会部に於て 会は十二日午後 日本に終て

立とにしているとにしてい 作所設立に國立映書製

務所廢止

來率、驛貴賓室に於て出迎へ滿官民多數の庭大な歌迎裡に

株名 義書換停止会 本名十二月一日より第二個定 時株主観會終了の迄書演停止 対候

和十年十一月

者に對

合擔任の訓導が保い

岡るには四国の情勢より推し 最も安富とするに意見一致を 見、今後各機關はこの方針の 下に具體的研究を進める事と なつた

張總理奉天着

て震談あり卒業兒子供の個性、成績

す見童の職

て講話

超を議題に は右興論に は右興論に は右興論に の意見一致 の関政府各機闘を以いれてゐたところで

に鑑み去る九日本間 委員會を開催せ

第家屯事務所 (大連國通)今回の鐵路總局 の職制改正により各鐵路局に 産菜處が新設され事ら地方産 菜の助長發展に協力する事と なったので從來滿綴總務部に 協議員してゐた吉林、チチハル

自動車にて浦人小學生の緒列の官民に一々挨拶を爲した後

二時宿舍ヤマトホテルに入つ 土の英霊に額づき実漏を祈り 毛皮展示會再會 る中を千代田通りを忠霊塔

大興公司滿洲土産品陳列所主 相談に應じられる由 相談に應じられる由 相談に應じられる由

満洲國體育聯盟

日前支配人川原久一郎氏はオニ新支配人川原久一郎氏はオニ 新舊支配人來社

鷲澤作議士

北支視察

技に本社へ来訪技に本社へ来訪 高宮氏來社

奥四二氏は十三日神戸出帆の《東京國通》國民同盟の驚澤

丸で大連に赴き天津

よむ仕事、 これが代謝 となると新 では

によつては國同をも脱しなに鑑み其の實情を視察し場となつた同氏は北支の質大をなった同氏は北支の質大 本體頭所 数

には ちの薬を 大セロ 額様は乾で 0

農告の



2

現場註文御受電話三 電話三 (豊新三一三一貫九) (豊新三一三一九七四番)

神通知二代へ謹告仕候 薬行其ノ効無ク本日十一 薬行其ノ効無ク本日十一 昭和十年十一月十一日
昭和十年十一月十一日 小笠原 北代候削此段の十一日午後

權撤 地方知 會

件の二議題につ

次の如くで

關東 議に於て先づ滿洲國側より現職する討議に先立ち亥回の會明 河 一時散會した 行地方税に関す

は十二日午前十時より

經濟共同委員會 る詳細なる説

に滿洲國政府より諮問ありた開催せられ日滿兩國政府の否

議案を審議

Z = XXX = XX

▲滿洲與侧 季員=張外交部大臣、丁實荣 部大臣、孫財政部大臣、長 網籍務顧長 新華里大橋外交部大長、高橋 等電部總務副長、大達總務顧衣 長 長

永中佐、武部關東局司政 ||一山本醫記官、永津大佐 竹內關東

政府を鞭撻する筈である

午後一時十三分着あじあで三年後一時十三分着あじあで三年を開通」初度巡視及び日

毛司令官始め在奉日滿軍隊、午後一時十三分着あじあで三

敗良チリノン紙各種・靜岡石川製紙會社謹製・ 特専 紙 價特 出

各種! ▲▲▲ 京協銀 花力月 (三千枚)(大)

● 勝躙名産文 & 長濱 貴出し中! ・ 受出し中現金御買上に限り! ハ五 羽衣町の 富 食料品店 電話(3)四人至 六四九 〇五五

御用 命は 電話 三二二〇〇香 ヒ卒マ炭 21 カ御き社 ~

希望ノ方は午前九時マデ来殺ノ事市内確實ナル保護人叉要ス 女子店員入用廣告 岩間商會寶石部 ● 田田〇二一三世本 大加裕新泰泰仁松 運搬部

機械本日 階二店貨百京新 館 眞 寫 京 新 三百九四(3)話職

安くて 良く撮れる 評判の

(七十八) **金**記

(八)

號四十九月五千四 のたないのでを見て手をはなして

さらかも知れない」

既は自分でもわからない情態に

上卸した 制指ム必達 資名水子襲 取のをラ名 元 資 後

のみのコバタ

は荒事する

のヤニ落し

ナイフで歯

コフコフと

るすべから

ヤワヤジと

くスモカで

万一品質れの節は代金を派へて左記

(全國藥店にあり)

| 上級、三川、三川、三川、沼料内・土銭、三川、田川、三川、三川、三川、三川、沼料内・土銭、三川、三川、沼料内

法簡便にして着々ヨ

菌を殺し

毒を消し

クなる

目に立たず

立たず 浅くつ

(田韓田建)

新京古野町(銀座)

朝日堂

() () () ()

時往診應需)

電話3二五九一巻

御試食を…

松本醫院

けても深く効き

せず

シマズ 痛まず 内攻

パトロンにならうー

毛はえ葉フミナイン

料にも比すべき良家です。荷くも毛の不足不恰好の方才要要の三作用を兼現へる、恰も草木に魅する土壌、日光、中野側帯士の熊獣にして、毛生に必要な、減度の殺闘、兵

五字銭、九十銭、一個六十銭、三周、全國各議店にありにも出て

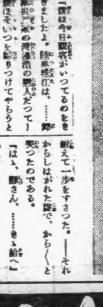
則記東京樂院へ申越大第進呈

ではなったと思いた。 が、保はそれほど、あなたを信いいけた。 なだれた。が、 すぐに数は言葉 火の中で、君を求めるんだ。君のい、それでい」から、既は地獄の 150號(* ない かんか、いまの いられてしまった。 「機は、器を繋してゐる。しかし

既は打つやうに彼女の時に手を 一様には那の演奏があ

批画家の商湯浩の戦人だつてー はそいつを認りつけてやらうと

そんな観報はいけません 勢つたのである。 「便ず、頭の、韓蛇のパトロン では、関は例のする」 \$6





をもないことになります。 皮膚病患をもないことになります。 皮膚病患

時です。皮膚病は膣内の凝が吹き

不村負次即商店

電話五二四四省

類命

र

ンヂュー

病、痔疾科

ヘロイン中毒

何卒多少に不拘

あんたは、それを本気でいふん 後一は彼女の間をつよくつかん しまつたのだ。

でも下しかねない様子を示したが、 「向ふが響けでも、器は形れてる

私は、私は、愛する解析のためにの機巧はそれだけではない。…… つり 必能の力だけではない、 現代 その態似であますの」 東戦を、パトロンに、えらむ! 放在までが、後一と一しよに着 なってるたのである。 の心特をきいたら、どんなに、どの心特をきいたら、どんなに、ど 信じてゐたのに」 かりではない、大概以もあなたをんなに、口情しがるか、……便は

子になりました。心も、熱性をかいったのである。 でじゃあ、問題君とのことも、ほ ・・あの形は次日です いはないで下

彼はうなだれてある特性をみつ 書夫 主

水いんきん かゆがり まづ 3 ŧ たひた は あ 1= せ t 制引通用期間三ヶ月) ・ 実内所 ・ に復切符は復路運賃三 ・ に変切符は復路運賃三 ・ に変切符は復路運賃三 ・ に変しのでは、 ・ に変して、 ・

● 新州 九(月三回 東教賀直航 甲ノ日田 東教賀直航

さいべりや北 (月三国) 海津設後五時 無素酸創九時 機素酸創九時

柳龍龍に最も巡撫であることはオー

養虫の刺傷

皮脂漏 南京虫

紋ぶど

漆のかぶれ

U

出

物

●器 姜 丸 日本海汽船

黑

出實法律事務所

李節高級具眼教美術京法書的店 除書類作成日滿鮮通譯 為洲國商 標登錄日滿民刑事訴訟 顧問及鑑定貸家貸地管理 辯護士

事務所移轉

話三-五四四九番

(新京百貨店購)

古バーセン

店理代溝北

房藥號亞東



TO DE

國產

頂

全藏洲總賣捌元

京新



辱を用愛御に故の此





鋮 あんま 灸

柳 鮮 釜山、大邱、木浦、群山、仁川、平壤、鎮南浦、支店出張所及派出所支店出張所及派出所

原、四平街、哈爾灣、傳家句、齊々哈爾、帕拉爾、安東縣、離北村、廣門、牡丹別。大連、據順、營口、遼陽、奉天、奉天小西嗣、錦州、赤峰、承榛、鐵鎮、 · 朝鮮銀行新京支店 [本報



